Glossary
グロッサリ

■ スケールアウト（SO: Scale Out）

サービス品質や処理能力を維持，向上するために，システムが処理すべき負荷量の増大に応じて，システム内で動作するサーバ等のノード数を増加させること．

（波戸邦夫）

■ ディザスタリカバリ（DR: Disaster Recovery）

広域災害等によりシステムが大規模な被害を被った場合の，予防および復旧措置のこと．主な対策例として，一度消失すると復旧が困難な情報を，あらかじめ遠隔地にバックアップし，被災時にその情報からシステムを復旧することが挙げられる．

（波戸邦夫）

■ 仮想化

ある機能，またはある機能を提供するコンポーネントを，物理的に機能を提供する実体とは独立に利用可能とすること．単一の物理的な実体を分割して利用する場合，複数の物理的な実体を統合して利用する場合，その両者の混在した場合などがある．

（波戸邦夫）

■ IMS（IP Multimedia Subsystem）

回線交換方式で提供されてきた電話サービスや多様なマルチメディアサービスをIPの技術を用いて実現する制御システム．移動体通信事業者間での相互接続性と国際ローミングの実現のため，各事業者が採用する統一システムとして位置付けられている．

（伊藤　学，小森田賢史，北辻佳憲，横田英俊，林　偉夫）

■ OpenFlow

ネットワーク機器（スイッチやルータ）の転送部と経路制御部を分離し，転送部の動作をソフトウェアで制御可能にする技術．経路制御部であるOpenFlowコントローラが複数の転送部（OpenFlowスイッチ）の動作を一括して管理する．

（伊藤　学，小森田賢史，北辻佳憲，横田英俊，林　偉夫）

■ SIP（Session Initiation Protocol）

端末間で音声，映像，テキストなどを送受信するために必要となるセッションの開始，変更，終了を行う制御プロトコル．IMSにて用いられているIP技術の1つ．

（伊藤　学，小森田賢史，北辻佳憲，横田英俊，林　偉夫）

■ CSCF（Call Session Control Function）

IMSを構成するSIPサーバであり，サービス制御を行うS-CSCF，加入者端末とS-CSCF間の中継サーバであるP-CSCF，着網のゲートウェイサーバであり特定のS-CSCFへSIPメッセージを転送するI-CSCFの3種類に大別される．

（伊藤　学，小森田賢史，北辻佳憲，横田英俊，林　偉夫）

■ オンプレミス設備

企業の業務システム等，自社で用意し，運用管理する設備を指す．従来は一般的な設備形態であったため，特に名称はなかったが，インターネット越しにデータセンタ等の設備を利用するクラウドが普及したため，データセンタ等の設備と対比する用語として造語された．

（奥野通貴）

■ スマートグリッド（Smart Grid）

定まった定義はないが，一般には，スマートメータ等の通信・制御機能を活用して，電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し，停電防止や送電調整のほか多様な電力契約の実現や人件費削減等を実現するための電力網を指す．

（奥野通貴）

■ サービス品質

アプリケーションサービスを提供するサーバとサービスを利用するクライアント間のネットワークにおける通信品質である．たとえば，SLA（Service Level Agreement）にて規定されたネットワークの通信品質（データ伝送帯域等）が相当する．

（鈴木敏明）

■ セキュアセッション

外部からの盗聴，改ざんを防止するために暗号化などの技術によって保護された通信路．代表的なプロトコルとしてTLS（Transport Layer Security）があり，認証・暗号化・改ざん検出機能により通信路のセキュリティを確保する．

（八百健嗣）

■ マルチホップネットワーク

複数の無線通信装置間で，パケットデータを中継して，データを伝送するネットワーク．センサネットワークなどに広く使われている．広いエリアの無線ネットワークを低コストで構築できる．また，自動的に経路を選択して通信を行うため，障害に強く信頼性に優れている．

（久保祐樹）

■ マイグレーション

あるシステムに保存されたデータを別のシステムに移行する作業や処理のことを指す．特に，複数の階層からなるストレージシステムにおいては，高速・高価な階層から低速・安価な階層へデータを移行して，データの保有コストを削減する手段として用いられる．

（片岡祥啓，須藤敦之）

■ ストレージクラウド

インターネット経由でストレージリソースを貸し出すサービス．ユーザは割り当てられたストレージリソースを手元ファイルのバックアップ・アーカイブ領域や仮想サーバのディスク領域として自由に使用できる．

（片岡祥啓，須藤敦之）